

# 令和6年度 学校評価計画

# 川北町立橋小学校

	評価項目と具体的取組	担当部	評価指標	達成度判断基準	備考
I 組織的な 学校運営	<b>【学校教育ビジョンの具現化】</b> 学校運営委員会や校務委員会と職員会議を密接に連携させ、学校教育ビジョンのもと、チーム学校を常に意識し、組織的主体的に学校運営に参画し、学校教育ビジョンの実現を目指す。	総務部	<b>【成果指標】</b> 学校教育ビジョンを意識しながら、組織的に主体的に自分の役割、取組を履行し、子どもたちを目指す姿に近づけることができている。	組織的主体的に学校運営に参画する中で、目指す児童の姿に近づいていると回答する職員の割合が A 80%以上 (あてはまるくどちらかの場合はB) B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	7月12月 教員アンケート
	<b>【働き方改革】</b> 業務の役割分担の適正化と組織的協働的な学校運営に努め、ワークライフバランスを大切にする。	総務部	<b>【満足度指標】</b> 職員は「ワークライフバランス」を大切にし、充実感を持って職務の遂行に努めている。	ワークライフバランスを大切に、充実感を持って教育に当たっていると回答する職員の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 教員アンケート
II 確かな 学力の 育成	<b>【学力向上】</b> 基礎学力向上計画・学力向上プランの共通実践をもとに、ばっちりタイムの計画的な取組を行い、基礎的基本的学力の向上を図る。	教務部	<b>【成果指標】</b> 取組の結果、基礎学力が向上している。	全学年においてばっちり算数と漢字の合計点(低:180点以上 中:170点以上 高:160点以上)であった合格者の割合が100%の学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下	7月12月2月 ばっちり算数・漢字の合格者の割合
	<b>【自ら学び、考え、ともに高め合う子の育成】</b> 課題解決への目的意識や必要感を持たせられる学習課題づくりと、その解決に向け、子供が自己決定しながら学習活動を展開できる授業づくりを推進し、児童の主体性の育成を図る。	教育推進部	<b>【満足度指標】</b> 児童が学びに向けて進んで取り組んでいる。	自ら学びに向けて取組を進めていると答えた割合が、前回よりも向上している学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下	5月7月12月 学びの研究アンケート
	<b>【読書活動の充実】</b> 図書館司書と連携し、毎月おすすめの本の達成状況を知らせ、振り返ることで、主体的な読書活動に向けたしかけの工夫を図る。	教務部 (図書担当)	<b>【成果指標】</b> 学年のおすすめの本を読むことが出来ている。 (1・2年20冊、 3年15冊、 4～6年10冊)	学年の「おすすめの本」を読み終えた児童の割合が A 95%以上 B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満	おすすめの本の冊数 7月(2年7冊、1・3年5冊、4～6年4冊) 12月(1・2年14冊、3年10冊、4～6年7冊) 2月(1・2年20冊、3年15冊、4～6年10冊)
III 豊かな 人間性の 育成	<b>【みんなが安心できる楽しい学校づくり】</b> 学校が安心でき、楽しいと感じられるよう、生徒指導の4つの視点を意識して授業を行ったり、児童を認め価値付けたりすることで、楽しい学校づくりに努めている。	生徒指導部	<b>【満足度指標】</b> 児童は、学校が楽しいと感じている。	「学校は楽しい」と回答した児童が、 A 85%以上 (あてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート
	<b>【道徳教育の推進】</b> 児童が自分の思いや考えをもち、友達と伝え合いながら考えを深められるよう、道徳の時間を要として、構造的な板書や発問などの工夫をし、道徳教育の充実を図る。	保健安全 ・体育部 (道徳教育推進)	<b>【満足度指標】</b> 児童は、自分の思いや考えをもち、友達と伝え合うことができています。	「自分の思いや考えをもち、友達と伝え合うことができた」と感じている児童の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 学校アンケート
	<b>【児童の自主性・主体性の育成】</b> よりよい学校・学級づくりに向けて、児童会活動、委員会活動、学級活動等に自主性・主体性をもって取り組める児童の育成に努めている。	生徒指導部	<b>【成果指標】</b> 児童会活動、委員会活動、学級活動等において、児童はよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めたと振り返っている。	児童会活動、委員会活動、学級活動等において、力を合わせてよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めたことについて振り返りが書けた児童(3～6年)の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	7月12月 児童の振り返り
IV 健やか 身体 の育成	<b>【体力の向上】</b> 体育の授業や児童の活動を主とした「体力作り1校1プラン」、「スポチャレ」の取組を通して体力の向上を図る。	保健安全 ・体育部	<b>【成果指標】</b> ミニ体力テストにおいて、弱点だった種目の記録の平均が、5月の記録の平均を上回る。	各学年の男女別グループ(4～6年生)のうち、ミニ体力テストにおいて、弱点だった種目の記録の平均が、5月の記録の平均を上回ったグループが、 A 5グループ以上 B 4グループ C 3グループ D 2グループ未満	ミニ体力テスト
	<b>【生活習慣の確立】</b> 保健指導やほけんだよりによる啓発を通して、歯みがき習慣の確立を図る。	保健安全 ・体育部	<b>【成果指標】</b> 「げんきっこチェック」で、1日2回以上、歯みがきができています。	「げんきっこチェック」で、「1日2回以上、歯みがきができた」と回答した児童の割合が、 A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	6月12月 げんきっこチェック
V 家庭・ 地域 との 連携	<b>【キャリア教育の推進】</b> 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる機会を各教科や総合的な学習の時間に設け、夢や目標をもち、意欲をもって学び続ける児童を育てる。	教務部	<b>【満足度指標】</b> 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる特設授業や各教科におけるGTとの授業、地域の方とのふれ合い、地域のよさを知る機会を通して学びに意欲を持っている。	町の先生との学習や地域についての学習・活動に興味をもって取り組んでいるという児童(3～6年)の割合が、 A 90%以上 (あてはまるくどちらかの場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート
	<b>【社会性の育成】</b> 社会性を身につけた児童を地域ぐるみで育成するため、あいさつを重点に、家庭・地域との連携を図り、身近な人に進んで明るいあいさつができる児童を育てる。	生徒指導部	<b>【満足度指標】</b> 家庭・地域や学校で、児童は進んであいさつができています。	進んであいさつをしていると回答した児童の割合が、 A 90%以上 (あてはまるくどちらかの場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート